

日本語の後項動詞「～こむ」についての一考察 - 韓国語との対照的な観点から -

諸貞熙 鄭世桓 上原聡
東北大学大学院国際文化研究科
jhje@intcul.tohoku.ac.jp

1 はじめに

韓国語を母語とする日本語学習者にとって困難な日本語の表現の一つに複合動詞がある。その原因として、その意味が必ずしも韓国語と日本語の一対一の対応になっていないことが挙げられる。そこで本稿では、語彙的複合動詞¹の中でもっとも生産性の高い「～こむ」について考察する。方法としては、対訳コーパスを用い、後項動詞「～こむ」に対応する韓国語を調査し、「～こむ」が持つ意味特性を明らかにし、韓国語との対応関係から機能分類を行う。

2 先行研究

国立国語研究所の調査(1987)によると、「～こむ」は、全体 236 の出現度数の中で結合する後項動詞(以下 V2)の出現度数は 5 で前接率 2.11%、結合する前項動詞(以下 V1)の出現度数は 231 で後接率 97.88% を占めており、V2 として非常に生産性が高いと言える。

また、姫野(1999)の調査では、「～こむ」に先行する動詞の種類が 285 語と語彙的複合動詞の中で第 1 位であると述べている。さらに姫野では意味分類を行い、「～こむ」の複合動詞のうち約 8 割は、主体あるいは対象がある領域の中へ移動することを表しているとし、格助詞「に」を伴って示されるのを「内部移動」と呼んでいる。そしてそのほかの、動作・作用の程度が進行することを表している用法を「程度進行」として、2 つのグループに分けている。

松田(2004)では、姫野の研究に基づいて、V1 と V2 の意味関係に着目し、「に」格を伴う「～こむ」と「に」格を伴わない「～こむ」をさらに分けて分類している。つまり「に」格を伴う「～こむ」は、V1 が「内部移動」を含意しないタイプと V1 自体が「内部移動」を含意するタイプに分け、また「に」格を伴わない「～こむ」は、V1

が示す状態への変化とその状態への固着のタイプと、V1 の反復行為により生じる状態変化のタイプに分けている。

本稿では、以上の先行研究を踏まえた上で小説コーパスの中に現れた「～こむ」と韓国語とその対応関係を考察する。

3 調査対象語とデータの収集

今回は CD-ROM 版新潮文庫 100 冊(1995)と青空文庫のテキストファイルを使用した。また日韓並列コーパス検索サイト Trankj を用い、日本語の作品が韓国語で訳されているものも収集した。その中で韓国語訳が出版されている作品を長編、短編の様々な小説を合わせて計 14 作品を選んだ。出典は本稿の最後のデータ出典に記す。収集したコーパスをコンピューター検索によって V2 に「こむ」を含む文を全て抽出した。そしてそれに対応する韓国語訳のデータを手作業によって作成した。

収集した対訳コーパスに表れた韓国語訳の傾向は様々なパターンがみられる。しかし、本稿は翻訳に関する研究ではないことから、まず日本語の「V1+こむ」の持つ本来の意味から離れて対応にならないもの、意識、*idom* 化されたもの、訳されていないものは除外した。例は次の(1)のようなものである。

- (1) 古川の持っている田圃の井戸を埋めて尻を持ち込まれた事もある。 [13]

hulukhawaney cip non-uy wumwul-ul meywe
chaykim-ul cin il-to issta.

〔直訳〕古川家の田圃の井戸を埋めて責任を負ったこともある。

上記以外の対訳コーパスの用例 171 例を考察すると調査対象の用例は次のように大きく 3 つに分けて考えることができる。

¹具体的な意味から見ると語彙的な結合制限がある複合動詞。V1 と V2 が補文関係をとらない。

- I 動詞+動詞
- II 単純動詞
- III 副詞・副詞的な語句+動詞

今回はそれぞれのパターンのうち、さらに内部移動の意味を持つ用例に焦点をおいて考察する。韓国語訳の品詞認定には KAIST CONCORDANCE PROGRAM を用い、意味機能の分析には国立国語研究院の HP の辞書機能を利用した。

4 日本語と韓国語の対応関係とその考察

4.1 動詞+動詞

このパターンは、日本語の「～こむ」の複合動詞が韓国語対訳でも複合動詞の形になるもので、動詞が 3 つ連続で表れたものも含む。全 171 用例の中に動詞のみで結合されているのは、103 例を占めている。様々な対応がみられるが、移動先を格助詞-ey, -lo, -ulo (「に」) で示して内部移動を表す複合動詞のパターンは 73 例と多かった。

2 つの動詞の結合は、「V+넣다(neh-ta : 限定された空間の中に入れる、ある範囲の中に入れる)」、「V+들다/들이다(tul-ta/tul-i-ta : 外から中や奥に向けて行く・来る)」、「들어(tul-e : 連用形)/들어(tul-ye : 連用形)/들어(tul-i : 使役形)+V」の対応がみられた。また 3 つの動詞の結合は、「V+들어(tul-e)+가다(ka-ta : あるところから他のところに場所を移動する)」、「V+들어(tul-e)+오다(o-ta : ある人が相手または基準になる人にいるところに動いて位置を変える)」の対応がみられた。次に、2 つの動詞の結合のパターンの例を(2)に、3 つの動詞の結合のパターンを例(3)に挙げる。

- (2) ハムとキュウリとチーズを順番に口の中に放りこみ、熱いコーヒーを胃に送りこんだ。 [1]

Haym-kwa oi-wa chicu-lul chalyey-lo ip sok-ey cip-e neh-ko ttuke-wun khephi-lul wi-sok-ulo hul-lye ponayssta.

〔直訳〕ハムとキュウリとチーズを順番に口の中につまんで入れて、熱いコーヒーを胃の中に流して行かせた。

- (3) 何か飲み物をもってベッドにもぐりこみ、音楽を聞いたり本を読んだりするのだ。 [1]

Mwen-ka masilkes-ul kaciko chimtay-ey phako-tul-e ka umak-ul tutkito hako chayk-ul

ilkkito hanta.

〔直訳〕何か飲み物を持ってベッドにもぐって入って行って音楽を聞いたり本を読んだりもする。

表 1 は用例の中で内部移動を表す動詞の出現数を示したものである。

【表 1】 内部移動を表す動詞

動詞+動詞		動詞+動詞+動詞			その他
V+ neh-ta	V+ tul-ta/ tul-i-ta	V+ tul-e+ ka-ta	V+ tul-e + o-ta	tul-e/ tul-ye/ tul-i +V	
29	19	13	2	9	31

複合動詞「～こむ」が韓国語で訳されたとき、動詞のみの結合が続くパターンで内部移動に対応する韓国語は次の表 2 のようである。

【表 2】 内部移動を表す「～こむ」の韓国語との対応

押し込む、潜り込む、送り込む、突っ込む、突き込む、放り込む、追い込む、描きこむ、引き込む、叩き込む、抛り込む、跳り込む、駆け込む、掻き込む	V+ neh-ta
浸しこむ、呑み込む、巻き込む、食い込む、潜り込む、引き込む、飛び込む、乗り込む、落ち込む	V+ tul-ta/tul-i-ta
引きずり込む、吸い込む、潜り込む、注ぎ込む、流し込む、飛び込む、担ぎ込む	V+ tul-e+ka-ta
射し込む	V+tul-e+o-ta
覗き込む、買い込む、吸い込む、引っ込む	tul-e/tul-ye/ tul-i+V

4.2 単純動詞

このパターンは、韓国語の動詞が 1 語に対応するものである。用例の中で 45 例を占めている。さらにその中では「漢字語+하다(hata : する)」形が 10 例、「固有語動詞」が 35 例と 2 つのパターンに分かれて表れた。以下の例(4)は前者のパターンであり、例(5)は後者のパターンである。ここで取り上げるのは固有語の中でも動詞自体が内部移動の意味を持っている例で、박다

(pakta: 打つ)、빠지다 (ppacita: 陥る)、담다 (tamta: 盛る)、넣다 (nehta: 入れる) などで表されており、7 例みられた。これらは-ey,-lo,-ulo (「に」を伴う。

- (4) 僕はだんだん河童の使う日常の言葉を覚えてきました。従って河童の風俗や習慣のみこめるようになってきました。 [7]

Na-nun cemcha khaphatul-i ssunun ilsang-uy mal-ul ikhye kasseyo. Ttalase khapha-uy phwungsok-ilang supkwan-to **naptuk-ha-ke** toyessciyo.

[直訳]僕はだんだん河童の使う日常の言葉を覚えていきました。従って河童の風俗や習慣も納得するようになりました。

- (5) が、意識の外の彼自身は、——言はば第二の彼自身はとうにかう云ふ心もちを或短篇の中に盛りこんでみた。 [11]

Haciman uysik ioy-uy ku casin-un,-malhaca myen cey 2uy ku casin-un imi ilehan maumkacim-ul enu tanphyen sok-**eyta tamko** issessta.

[直訳]しかし意識以外の彼自身は、-言えば第2の彼自身はすでにこういう心もちを或短編の中に盛っていた。

同じ固有語の場合でも動詞自体が内部移動の意味を持っていない次の例(6)(7)は日本語とは格助詞が変わる場合である。

- (6) いろいろ注文が多くてうるさかつたでせう。お気の毒でした。もうこれだけです。どうかからだ中に、壺の中の塩をたくさんよくもみ込んでください。 [12]

Yele kaci cwumwun-i manha penkelowusyesscyo. coysonghapnita. icye ikes-ppwun-ipnita. pwuti momcenchey-ey hangali anuy sokum-**ul** manhi cal **mwuncille** cwusipsio.

[直訳]色々注文が多くてわずらわしかったです。恐れ入ります。もうこれだけです。どうか体全体に、壺の中の塩をたくさんよくもんでください。

- (7) 彼女はパリに住んでいるうちにだんだん烈しい懐郷病に落ちこみ、夫の友だちが帰朝するのを幸い、一しよに船へ乗りこむことにした。 [10]

Kunye-nun phalli-eyse salko issnun tongan-ey cemcem simhan hyangswupyeng-ey ppacye namphyen-uy chinku-ka kwikwuk-hanun kil-ey tahayngi hamkkey pay-**lul thakey** toyessta

[直訳]彼女はパリで住んでいた間にたんたんひどい郷愁病に陥って、夫の友達が帰国するついでに幸いに、一緒に船を乗ることになった。

例(6)と(7)の下線部の直訳のところを見ると分かるように、韓国語では sokum-ul munciluta, pay-lul thata とよめるが、日本語では、その直訳である「塩をもむ」、「船を乗る」とは言わない。「に」格を伴う「〜こむ」の中で格助詞「に・へ」が韓国語では-ul・-lul (「を」)で表れるわけで、両言語において動詞の及ぼす意味領域が異なっていることが指摘できる。

4.3 副詞・副詞的な語句+動詞

このパターンは、日本語の「〜こむ」の内容が韓国語における動詞に先行する説明的な副詞・副詞的な語句として表れるもので全171例の中で22例を占めている。このパターンはさらに副詞・副詞的な語句と単一動詞の結合の12例と、副詞・副詞的な語句と2つ以上の動詞が続いて結合する10例に分けられる。その中で内部移動を表す動詞の例は넣다 (neh-ta: 入れる) 오다 (o-ta: 来る) 들다 (tul-ta: 入る) 들어가다 (tul-e-ka-ta: 入って行く) で、副詞・副詞的な語句+動詞では1例、副詞・副詞的な語句と2つ以上の動詞の場合は8例あった。例(8)は前者の例であり、例(9)は後者の例である。

- (8) ノートにはぎっしりと十六ページにわたって細かい数値が書きこまれていた。 [1]

Notu-ey-nun seymil-han swuchi-ka 16 pheici-ey kelchyses **ppaykppayk-hakey cekhye** issessta

[直訳]ノートには細密な数値が16ページにわたってじっしりと書かれていた。

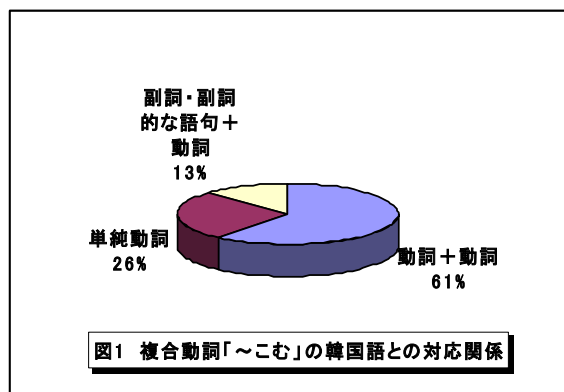
- (9) ついでだから一杯食って行こうと思って上がり込んだ。 [13]

Cinanun kil-inikka han kulus mekko kalyeko **an-ulo tule-sessta**

[直訳]通るついでだから一杯食って行こうと中に入って立った。

5 おわりに

以上、日本語の複合動詞「～こむ」に対応する韓国語を調査し、大きく3つのパターンに分類した。その割合を示すと次の図1のようになる。



今回の用例の場合は、日本語の複合動詞「～こむ」が韓国語も複合動詞で対応する例が半分以上を占めていることが分かった。また3つのグループはされにそれぞれ細かく分類することができた。さらに本研究で明らかになったことの1つは日本語のある1つの複合動詞は韓国語の対訳でいつも同じパターンになるとは限らないということである。たとえば、「つつこむ」の場合、今回の用例だけでも様々な意味と形で現れ、次のような語訳に対応している。

【表3】 「つつこむ」の様々な対応語

つつこむ	
動詞+動詞	들어놓다(tulyenohta: 入れておく)、 들어박다(thulepakta: 押し込む)、 쑤셔넣다(sswusyenehta: 差し入れる)、 집어넣다(cipenehta: つまんで入れる)
単純動詞	넣다(nehta: 入れる)、받다(patta: 突く)
副詞・副詞的な語句+動詞	꼭 쑤셔넣다(pwuk sswusyenehta: すっぽり差し入れる)

今後は用例をさらに多く収集し、分析していく予定である。どのようなとき、どのような形態に対応するかを体系的に、特に韓国語の訳においても複合動詞として表現された用例を中心にみていきたいと考えている。また「に」格を伴わない用法(姫野による程度進行)についても考察して行く予定である。

データ出典

- [1]世界の終わりとハードボイルドワンダーランド 村上春樹『新』(김진옥訳 2002)
 - [2]羅生門 芥川龍之介 『新』(진웅기・김진옥訳 2000)
 - [3]鼻 芥川龍之介 『新』(同上)
 - [4]杜子春 芥川龍之介 『青』(同上)
 - [5]藪の中 芥川龍之介 『青』(同上)
 - [6]地獄変 芥川龍之介 『青』(同上)
 - [7]河童 芥川龍之介 『青』(同上)
 - [8]歯車 芥川龍之介 『青』(同上)
 - [9]大道寺信輔の半生 芥川龍之介 『青』(同上)
 - [10]玄鶴山房 芥川龍之介 『青』(同上)
 - [11]或阿保の一生 芥川龍之介 『青』(同上)
 - [12]注文の多い料理店 宮沢賢治 『青』(민영訳 2000)
 - [13]坊ちゃん 夏目漱石 『T』
 - [14]無鉄砲 夏目漱石 『T』
- 『新』: CD-ROM 版新潮文庫 100 冊(1995)
 『青』: 青空文庫 <http://www.aozora.gr.jp/index.html>
 『T』: 日韓並列コーパス検索 <http://www.trankj.pe.kr/>

謝辞

本研究は、東北大学 21 世紀 COE プログラム(人文科学)「言語・認知総合科学戦略研究教育拠点」の補助を受けて行われています。

参考文献

- 生越直樹 1983 「日本語複合動詞後項と朝鮮語副詞・副詞的な語句との関係」『日本語教育』52号. pp.55-64
 影山太郎 1993 『文法と語形成』ひつじ書房
 国立国語研究所 1987 『複合動詞資料集』
 姫野昌子 1999 『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ書房
 松田文子 2004 『日本語複合動詞の習得研究』ひつじ書房